

**製品名: CD1C ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08262**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	37kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD1C
別名	CD1C; T-cell surface glycoprotein CD1c; CD1c
遺伝子 ID	911.0
SwissProt ID	P29017
免疫原	抗血清はヒト CD1C の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

**背景**

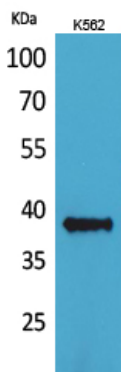
この遺伝子は、膜貫通糖タンパク質の CD1 ファミリーのメンバーをコードします。CD1 ファミリーは構造的に主要組織適合遺伝子複

合体 (MHC) タンパク質と関連しており、 $\beta$ 2 ミクログロブリンとヘテロ二量体を形成します。CD1 タンパク質は、主に自己または微生物由来の脂質抗原および糖脂質抗原を T 細胞に提示する役割を果たします。ヒトゲノムには、1 番染色体上にクラスターを形成する 5 つの CD1 ファミリー遺伝子が含まれています。CD1 ファミリーのメンバーは、細胞内局在および特定の脂質リガンドに対する特異性が異なると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞質末端のチロシンをベースとしたモチーフを介して、エンドサイトーシス系全体に広く分布しています。この遺伝子の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されていますが、その全長は不明です。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 自己および非自己の脂質抗原と糖脂質抗原に結合し、ナチュラルキラー T 細胞上の T 細胞受容体に提示する抗原提示タンパク質。 ,その他: タンパク質合成および成熟過程において、CD1 ファミリーのメンバーは内因性脂質に結合します。タンパク質は内在化され、エンドソームまたはリソソームを通過した後、細胞表面に戻ります。 ,類似性: 1 つの Ig 様 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。 ,細胞内局在: 細胞膜とエンドソーム間の細胞内輸送の対象となります。 ,サブユニット: B2M (ベータ 2 ミクログロブリン) とのヘテロ二量体。 ,組織特異性: 皮質胸腺細胞、特定の T 細胞白血病、および他のさまざまな組織に発現します。 ,

## 研究分野

造血細胞系統;

## 画像データ



CD1C ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。